



榮光輝く兩角大佐に

平驛頭熱誠の歓迎陣

且つての部下勇士に默禱

遺族等感激の一シーン

公會堂に舌端火を吐く

公會堂に舌端火を吐く

護符を

戰地へ

護符を

護符を

護符を

去る十日平市公會堂に於
て本縣漁業家方面の久し
き懇親となつて居た漁
船組合は其實現の機
械を見るに至り滋三郡漁船
保険組合の銘を打ち初め
て創立された漁業家に收
められた時代の産むだ福音
で當業先輩者の間に幾年
かを叫ばれて居た懇親が
見えたものである。

先般の小名渕港内の遭難
は大小九十七艘、此損害
額二十萬圓に達する。大
きな損害は決して生やさ
しいものでない、之を眼
前に觀るに至つては縣當
局も急遽組合の創立の急
務を覺り茲に初めて其創
立を見たもので創立と同
時に遭難漁船に對する救
濟上の對策も講じられ低
利資金の融通等漁業家に
取つては一大福音である

因に組合長木縣知事、
副組合長岩瀬水產課
長、小名渕漁業組合長
理事、監事、小名渕三
名江主、四倉一

井戸の構造に

根本的の改善

今春を期して警報

賞入展初書

校學小三第平

名相馬、双葉各一名
宛ある

(第一) 田中隆一
關内淳
河田亮
吉田和三
浦井智子
鈴木敏子
青木照子
菊地博片
堀博片
諸橋義二郎
芳賀武重

(第二) 新井一郎
佐々木勝子
岩村妙子
鈴田俊子
(第三) 國井辰三
高野亮
二吉田實夫
川又常治
伊藤貢子
阿彌秀子
鈴木光子
(第四) 國井辰三
高野亮
(第五) 田口光男
松崎昇
西野光
坂井嘉朋
寺美子
鈴木千代子
(第六) 諸橋義二郎
芳賀武重

(第七) 丹野信男
中村朝子
坂本昭子
(第八) 高木和子
猪狩麗
(第九) 谷富雄
中野千鶴子
坂本江尻
(第十) 佐々木勝子
岩村妙子
鈴田俊子
(第十一) 國井辰三
高野亮
(第十二) 田口光男
松崎昇
(第十三) 西野光
坂井嘉朋
(第十四) 寺美子
鈴木千代子
(第十五) 諸橋義二郎
芳賀武重

寄滑二郎 田口安男 大

郷士出身將兵の慈父とし
て武名天下に轟るくわれ
等の前部隊長兩角大佐は
本十三日午後零時四十三
分平駆到着の列車より降
り意味深き第一歩を平市
の地上に印した。此の日
風なく日本晴の好天氣、
午前には各官衙長、市會
議員、在郷軍人、消防組
合水に起因するところ極

くに被災するが、此の日
は新春を期し管下一せい
に井戸の大改造を施行す
づ傳染病發生の原因をな
くはまだ、外部から汚水
遂次開放式井戸の洗

國民體向上の折飲料水
の良否は國民の健勝に重
大な關係があり特に關チ
フス、赤痢等の傳染が飲
水に起因するところ極

くに被災するが、此の日
は新春を期し管下一せい
に井戸の大改造を施行す
づ傳染病發生の原因をな
くはまだ、外部から汚水
遂次開放式井戸の洗

場等を閉鎖式井戸或ひは
突貫井戸にあらためしめ
る方針であるが、今回の
改善は水質よりも井戸の
構造に重点を置き根本的
改善をなさしめようとする
ものである

安島氏が
統後會寄附

根本伍長
植田町

文部省督學官下村市郎氏
は二月四日鎌中、磐女兩
校觀察のため來平する

病に冒され〇陸軍病院

一日後に死亡された旨こ
の程實家に公電があつた

實家には豆腐屋を營む
父姓の助さん(若母ら
かさん)妻と兄錦一さ
ん(西大斐がる)、同

伍長は警視巡査で備
士である

で治療中であったが月
一日後に死亡された旨こ
の程實家に公電があつた

實家には豆腐屋を營む
父姓の助さん(若母ら
かさん)妻と兄錦一さ
ん(西大斐がる)、同

伍長は警視巡査で備
士である

で治療中であったが月
一日後に死亡された旨こ
の程實家に公電があつた

實家には豆腐屋を營む
父姓の助さん(若母ら
かさん)妻と兄錦一さ
ん(西大斐がる)、同

伍長は警視巡査で備
士である

で治療中であったが月
一日後に死亡された旨こ
の程實家に公電があつた

實家には豆腐屋を營む
父姓の助さん(若母ら
かさん)妻と兄錦一さ
ん(西大斐がる)、同

伍長は警視巡査で備
士である

で治療中であったが月
一日後に死亡された旨こ
の程實家に公電があつた

實家には豆腐屋を營む
父姓の助さん(若母ら
かさん)妻と兄錦一さ
ん(西大斐がる)、同

伍長は警視巡査で備
士である

で治療中であったが月
一日後に死亡された旨こ
の程實家に公電があつた

實家には豆腐屋を營む
父姓の助さん(若母ら
かさん)妻と兄錦一さ
ん(西大斐がる)、同

伍長は警視巡査で備
士である

株式會社へ
印刷の御用は
電話六三〇番

督學官
視察に來平

女客
文部省督學官下村市郎氏
は二月四日鎌中、磐女兩
校觀察のため來平する

病に冒され〇陸軍病院

一日後に死亡された旨こ
の程實家に公電があつた

實家には豆腐屋を營む
父姓の助さん(若母ら
かさん)妻と兄錦一さ
ん(西大斐がる)、同

伍長は警視巡査で備
士である

で治療中であったが月
一日後に死亡された旨こ
の程實家に公電があつた

實家には豆腐屋を營む
父姓の助さん(若母ら
かさん)妻と兄錦一さ
ん(西大斐がる)、同

伍長は警視巡査で備
士である

で治療中であったが月
一日後に死亡された旨こ
の程實家に公電があつた

實家には豆腐屋を營む
父姓の助さん(若母ら
かさん)妻と兄錦一さ
ん(西大斐がる)、同

伍長は警視巡査で備
士である

で治療中であったが月
一日後に死亡された旨こ
の程實家に公電があつた

實家には豆腐屋を營む
父姓の助さん(若母ら
かさん)妻と兄錦一さ
ん(西大斐がる)、同

伍長は警視巡査で備
士である

郷士出身將兵の慈父とし
て武名天下に轟るくわれ
等の前部隊長兩角大佐は
本十三日午後零時四十三
分平駆到着の列車より降
り意味深き第一歩を平市
の地上に印した。此の日
風なく日本晴の好天氣、
午前には各官衙長、市會
議員、在郷軍人、消防組
合水に起因するところ極

くに被災するが、此の日
は新春を期し管下一せい
に井戸の大改造を施行す
づ傳染病發生の原因をな
くはまだ、外部から汚水
遂次開放式井戸の洗

國民體向上の折飲料水
の良否は國民の健勝に重
大な關係があり特に關チ
フス、赤痢等の傳染が飲
水に起因するところ極

くに被災するが、此の日
は新春を期し管下一せい
に井戸の大改造を施行す
づ傳染病發生の原因をな
くはまだ、外部から汚水
遂次開放式井戸の洗

郷士出身將兵の慈父とし
て武名天下に轟るくわれ
等の前部隊長兩角大佐は
本十三日午後零時四十三
分平駆到着の列車より降
り意味深き第一歩を平市
の地上に印した。此の日
風なく日本晴の好天氣、
午前には各官衙長、市會
議員、在郷軍人、消防組
合水に起因するところ極

くに被災するが、此の日
は新春を期し管下一せい
に井戸の大改造を施行す
づ傳染病發生の原因をな
くはまだ、外部から汚水
遂次開放式井戸の洗

國民體向上の折飲料水
の良否は國民の健勝に重
大な關係があり特に關チ
フス、赤痢等の傳染が飲
水に起因するところ極

くに被災するが、此の日
は新春を期し管下一せい
に井戸の大改造を施行す
づ傳染病發生の原因をな
くはまだ、外部から汚水
遂次開放式井戸の洗

郷士出身將兵の慈父とし
て武名天下に轟るくわれ
等の前部隊長兩角大佐は
本十三日午後零時四十三
分平駆到着の列車より降
り意味深き第一歩を平市
の地上に印した。此の日
風なく日本晴の好天氣、
午前には各官衙長、市會
議員、在郷軍人、消防組
合水に起因するところ極

くに被災するが、此の日
は新春を期し管下一せい
に井戸の大改造を施行す
づ傳染病發生の原因をな
くはまだ、外部から汚水
遂次開放式井戸の洗

國民體向上の折飲料水
の良否は國民の健勝に重
大な關係があり特に關チ
フス、赤痢等の傳染が飲
水に起因するところ極

くに被災するが、此の日
は新春を期し管下一せい
に井戸の大改造を施行す
づ傳染病發生の原因をな
くはまだ、外部から汚水
遂次開放式井戸の洗

郷士出身將兵の慈父とし
て武名天下に轟るくわれ
等の前部隊長兩角大佐は
本十三日午後零時四十三
分平駆到着の列車より降
り意味深き第一歩を平市
の地上に印した。此の日
風なく日本晴の好天氣、
午前には各官衙長、市會
議員、在郷軍人、消防組
合水に起因するところ極

くに被災するが、此の日
は新春を期し管下一せい
に井戸の大改造を施行す
づ傳染病發生の原因をな
くはまだ、外部から汚水
遂次開放式井戸の洗

國民體向上の折飲料水
の良否は國民の健勝に重
大な關係があり特に關チ
フス、赤痢等の傳染が飲
水に起因するところ極

くに被災するが、此の日
は新春を期し管下一せい
に井戸の大改造を施行す
づ傳染病發生の原因をな
くはまだ、外部から汚水
遂次開放式井戸の洗

郷士出身將兵の慈父とし
て武名天下に轟るくわれ
等の前部隊長兩角大佐は
本十三日午後零時四十三
分平駆到着の列車より降
り意味深き第一歩を平市
の地上に印した。此の日
風なく日本晴の好天氣、
午前には各官衙長、市會
議員、在郷軍人、消防組
合水に起因するところ極

くに被災するが、此の日
は新春を期し管下一せい
に井戸の大改造を施行す
づ傳染病發生の原因をな
くはまだ、外部から汚水
遂次開放式井戸の洗

國民體向上の折飲料水
の良否は國民の健勝に重
大な關係があり特に關チ
フス、赤痢等の傳染が飲
水に起因するところ極

くに被災するが、此の日
は新春を期し管下一せい
に井戸の大改造を施行す
づ傳染病發生の原因をな
くはまだ、外部から汚水
遂次開放式井戸の洗

郷士出身將兵の慈父とし
て武名天下に轟るくわれ
等の前部隊長兩角大佐は
本十三日午後零時四十三
分平駆到着の列車より降
り意味深き第一歩を平市
の地上に印した。此の日
風なく日本晴の好天氣、
午前には各官衙長、市會
議員、在郷軍人、消防組
合水に起因するところ極

くに被災するが、此の日
は新春を期し管下一せい
に井戸の大改造を施行す
づ傳染病發生の原因をな
くはまだ、外部から汚水
遂次開放式井戸の洗

國民體向上の折飲料水
の良否は國民の健勝に重
大な關係があり特に關チ
フス、赤痢

